

# 新型コロナウイルス感染症対策【清掃・消毒】

## 1、 新型コロナウイルスの感染経路（厚生労働省 HP より）

現時点では、飛沫感染（ひまつかんせん）と接触感染の2つが考えられます。

（1）飛沫感染 感染者の飛沫（くしゃみ、咳、つば など）と一緒にウイルスが放出され、他者がそのウイルスを口や鼻から吸い込んで感染します。

※感染を注意すべき場面：屋内などで、お互いの距離が十分に確保できない状況で一定時間を過ごすとき

（2）接触感染 感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後、自らの手で周りの物に触れると感染者のウイルスが付きます。未感染者がその部分に接触すると感染者のウイルスが未感染者の手に付着し、感染者に直接接触しなくても感染します。

※感染場所の例：電車やバスのつり革、ドアノブ、エスカレーターの手すり、スイッチなど

## 2、 家庭や施設内での消毒について

手などの皮膚の消毒を行う場合には、消毒用アルコール（70％）を、物の表面の消毒には次亜塩素酸ナトリウム（0.1％）が有効であることが分かっています。

| 消毒薬                    | 場所 |            | 対象                                                                                              | 方法                                                                         |
|------------------------|----|------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|
| 次亜塩素酸ナトリウム<br>消毒用エタノール | 家庭 | 居室<br>食事部屋 | ドアノブ、窓の取手、<br>鍵、イス、<br>各種スイッチ類、電話、<br>パソコン、マウス、ペン                                               | ペーパータオルなどに薬液を含ませて拭き、自然乾燥。<br><br>濡れている場合は水分をふき取り、ペーパータオルなどに薬液を含ませて拭き、自然乾燥。 |
|                        |    | 浴室         | 蛇口、水栓レバー、窓の取手、各種スイッチ類、                                                                          |                                                                            |
|                        |    | トイレ        | 流水レバー、便器のフタなど                                                                                   |                                                                            |
|                        | 職場 | 共有部分       | 出入り口ドアの取手、コピー機操作パネル、各種操作スイッチ、ボタン、水栓レバー、蛇口、電話機、パソコン、マウス、キーボード、共有のカギ類、机の上、各種機材、その他操作するもの、手が触れるところ |                                                                            |
|                        |    | 個人保有       | ペン、マグカップなどの持ち手部分、                                                                               |                                                                            |

※次亜塩素酸ナトリウムを使用する際の注意点

用途に応じて、製品に記載されている容量に希釈して使用する。

【参考目安】約5％濃度として

・500ml ペットボトルの水に、ペットボトルのキャップ2杯（0.1％濃度）

・金属面に使用した際には、約10分後に水拭きをすること。

医療法人社団和風会  
メディカルフィットネス事業部